

平成28年度岩手連大国際シンポジウム開催通知

岩手大学大学院連合農学研究科（UGAS）は、この度2016年12月17日～18日の日程で岩手大学にて国際シンポジウムを開催いたします。本シンポジウムのテーマは、“植物科学・食物科学の革新～遺伝子から製造まで～”です。この催しは、岩手連大の協定校との関係をより強化し、岩手連大と参加大学の研究者間での共同研究や学生交流を生み出すきっかけとなるよう働きかけることを目的としています。シンポジウムでは、岩手連大の4構成大学からの教員、カナダ・サスカチュワン大学とバングラデシュ・ダッカ大学からの教員の参加を予定しています。加えて、中国の福建農業大学からも教員の参加を検討していただいております。また、本シンポジウムでは、岩手連大や協定校に在学する博士・修士課程の在学学生へも広く参加を呼びかけ、彼らの研究を発表する機会を設けます。実行委員一同、この新しいシンポジウムを開催することを大変光栄に思い、ぜひご参加いただきたくご案内申し上げます。

シンポジウムは2日間の日程で開催し、植物・食物・栄養生物科学（そのうちの2つは植物/作物/森林科学とし、もう1つを食物・栄養科学分野）を中心に、広い分野にわたる3つの分科会を含めたプログラムで構成されています。なお、これらに加えて、今後の教育連携・研究交流のあり方を考えるパネルディスカッションと学生の参加するポスターセッションも開催予定です。岩手連大・サスカチュワン大学・ダッカ大学・福建農業大学の研究者がこれらの分科会やパネルディスカッションで自身の研究や経験について発表します。大学院の学生には、ポスターセッションでの発表を推奨します。実行委員会では、ポスターセッションでの優秀作品にベストポスター賞を授与することにしています。

岩手大学は、盛岡市の繁華街から徒歩で30分ほどの距離に位置しています。12月の盛岡市では気温が0.5度前後と非常に寒く、降雪も予想されるため、参加されるみなさまには天候への備えに留意されるようご案内させていただきます。晴れた日であれば、岩手山のすばらしい景色をキャンパスから眺めることができます。また、盛岡市内観光としては、盛岡城址をはじめ、盛岡八幡宮・法恩寺や美術館・科学館などが盛岡市街からの徒歩圏内に点在しており、シンポジウムの合間に十分お楽しみいただけます。雫石町・八幡平市は盛岡市郊外に位置し、多くの牧場や温泉のあるのどかな地域です。盛岡市から程近い場所には、いくつかのスキーリゾートもありますので、スキーやスノーボードもお楽しみいただけます。本シンポジウムの終了後、美しい岩手や日本文化を満喫する時間を作るのも一案かと存じます。

発表者の一覧・参加登録料や、Abstractの提出期限等の詳しい内容については、9月末を目処に周知いたします。岩手大学大学院連合農学研究科の実行委員一同、皆様の参加を心よりお待ちしております。どうぞよろしくお願いいたします。

岩手大学大学院連合農学研究科

研究科長 比屋根 哲

国際戦略コーディネーター Abidur Rahman